

栄東地区における学校規模適正化の取組 説明会
開催結果概要（栄東小会場）

【日時】

令和7年9月17日（水）18：30～19：40

【場所】

栄東小学校 屋内運動場

【参加者】

地域住民・保護者7名

【説明内容】

栄東地区学校配置検討委員会における協議内容・協議結果について

【参加者からの質問・意見概要】

意見・質疑	回答
学校の統合は決定事項と考えてよいのか？	最終的には、学校設置条例が市議会で可決された時点で決定となるが、教育委員会として、学校配置検討委員会から頂いた意見書を尊重して進めていく方針を決定した。 今後は学校統合に向け、校舎新築の設計をはじめ、開校準備の取組を進めていきたい。
近年では猛暑や大雪など環境が大きく変わり、古い校舎は時代に合わなくなっていると感じる。特にエアコンは、子どもと教職員のためにも一刻も早く整備してほしい。 再編にあたり、新校舎も含め子どものことを第一に考えた学校づくりを進めてほしい。	近年の夏場の高温を踏まえ、栄東小の敷地において再編校施設の新築を行う際には、各教室、職員室などに冷房を整備するが、新校舎の完成まで、設計、工事などある程度の期間を要することはご理解いただきたい。 既存の栄東小校舎にも、R8年ごろに冷房の整備を完了する予定。
再編にあたっては、季節や朝夕の時間帯など様々な状況の通学安全を考慮してほしい。	設計を進めることで施設の完成時期、開校時期がある程度見えてくると考えている。 この開校時期を踏まえ、再編校の開校までの間に、地域と保護者にも協力を得ながら、両校合同でスクールゾーン実行委員会を開催するなど、具体的な危険箇所の確認と対応策の協議を行ってもらう想定。
冬期間は雪風がすごく、信号機が見づらい状況にあり、通学に不安がある。学校までの距離が遠くなることで危険箇所が今よりも増えてくることが予想される。	
児童会館とまちづくりセンターを複合化するにあたっては、車の出入りが増加することを考慮して、児童と車両の動線を分けるなど、事故のないように工夫してほしい。	施設の複合化により、自動車の往来がより増えることが見込まれる。 児童と車両の動線の工夫については、今後の設計の中で検討していく。
まちづくりセンターが複合化されることで、敷地内からプールはなくなるのか。	プールは再築しないが、まちづくりセンターの複合化が理由ではなく、施設の老朽化、学校の管理負担を踏まえて、他のプール施設の利用に切り替えていくという考え方。

新校舎の工事期間にグラウンドが使用できないと、児童が運動不足になる懸念がある。	近年の学校新改築の事例でも、校舎の建築工事期間とは別に、グラウンド整備でさらに2年程度の期間を要している。
グラウンドは地域のクラブ活動でも活用しているため、工事期間中も活動できるよう近隣校への協力をお願いしたい。	グラウンドが使用できない間は、近隣校や公園などを活用しているが、グラウンド整備完了までにおける活動場所の確保は非常に大きな課題と考えている。
自分自身、建て替え中の高校に通っていた経験があるが、何かしらの不便はあった。工事期間中の子どもたちへの負担がなるべく少なくなるよう、なるべく早い段階で対応策を周知した方が良い。	今回の取組では、現栄東小敷地において長期間にわたり工事の影響が生じるが、栄緑小とうまく連携できればと思っている。 今後、両校で検討を進めることとなるが、例えば運動会などの行事で栄緑小のグラウンドを使用することも想定されるほか、栄緑小の敷地や施設の利用を通じた児童の事前交流に繋がるような取組の実施について、教育委員会としても支援していきたい。 また、工事期間の見通しについては、適宜的確に保護者・地域に共有できるようにどのような工夫が可能か検討を進める。
まちづくりセンターが複合化されることにより、不特定多数の市民が校舎内に入ってくることになるため、防犯面の不安もある。	更新期にある公共施設は、地域コミュニティの中心である小学校に複合化していくというのが札幌市の方針であり、この地区における取組案として、児童会館とともに地区会館機能を含めたまちづくりセンターの複合化を提示させていただいた。
まちづくりセンターの複合化はあまりメリットを感じない。ミニ児童会館が混雑しているので、新校舎に複合化する際は広くなると良い。防犯対策を意識しつつ、学校と児童会館を行き来しやすいような工夫がほしい。	ご心配は理解できるものであり、今後、セキュリティと使いやすさの両立を目指して設計を進め、より良い複合施設にしたいと考えている。

【栄東小学校校長閉会の挨拶】

本校は、昭和50年に開校し、昨年50周年を迎えた。50年前、この場で開校式が行われ、この50年間で実に4,897名の卒業生を出しているが、それぞれの各場でご活躍されているということをお聞きしている。今年度は、9月1日現在で446名の子どもたちが元気に本校に通っている。

本日は、学校規模適正化の取組に関する説明会ということで、皆さまもお聞きのとおり、市教委から学校の統合再編に向けたこれまでの検討状況と今後の予定について説明があった。

今後のこの地区における小学校の形が見えた一方で、これから設計・工事を経た施設の完成、再編校の開校までには、まだ一程度の期間があるということも分かった。

この間も栄緑小学校と栄東小学校の教育活動は続いていく。その時まで、引き続き栄緑小学校、栄東小学校の教育に関して、御理解、御協力をお願いしたい。